

No.  
96



独立行政法人国立病院機構

静岡医療センター

NEWS  
ニュース

私たちは生命を大切にし  
社会から信頼されよこばれる  
高度で適切な医療を提供します



巻頭言 着任のご挨拶 看護部長 漆畑 久子	2
病院トピック 「私の骨は大丈夫？」と思ったら検査を！	3
病院トピック 骨吸収抑制薬と顎骨壊死	4
掲示板	5
新任ドクター紹介	6・7
外来担当医表	8



## 着任のご挨拶

看護部長 漆畑 久子

本年4月より、静岡医療センターの看護部長を拝命しました漆畑と申します。前任地は静岡てんかん・神経医療センターです。それ以前は、愛知県と三重県の病院で勤務していました。その地域の方々・自然・景色に触れ、様々な学びを得られたことは、自身の財産になっています。その経験を経て、再び静岡県内のNHO病院で働けることになりました。静岡県生まれの私にとって、非常に光栄であるとともに、身の引きしめる思いであります。

さて、静岡医療センターは、循環器疾患・がん医療・救急医療・総合診療・重症心身障害・神経難病を柱とした急性期と慢性期の複合型の病院です。看護部は、「いのちと向き合う患者さまへ、こころあるやさしい看護を提供します」を理念としています。高い倫理観と知識・技術を持ち、急性期・回復期・慢性期・終末期看護そして、障害者看護と幅広い看護ケアを提供させていただくことを目指し、精進したいと思っております。

また、2025年問題により、医療・看護のあり方は大きく変わります。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・生活支援・介護予防・医療・介護が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現することが求められています。他の医療機関や介護施設、地域の訪問看護ステーションとの連携などが必要です。そのためには、看護師や、ケースワーカーなど多職種が連携を取り情報を共有し支援することが重要です。当院は、地域医療支援病院として地域における医療の一端を担っており、看護師に求められる役割も大きくなっています。地域の皆様の生活を支援できるように、微力ではありますが尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 病院トピック

### 「私の骨は大丈夫？」 と思ったら検査を！

骨粗鬆症は WHO（世界保健機関）の定義の中で「骨折の危険性が増大した状態」とあります。

日本での骨粗鬆症患者数は（腰椎、大腿骨頸部）1280 万人（男性 300 万人・女性 980 万人、実際に治療を受けている人：200 万人以下）、大腿骨近位部骨折の発生数は 148100 人（男性 31300 人、女性 116800 人）であり、骨粗鬆症は骨折による要介護の原因の 4 位を占めています。（当院の昨年 1 年間の大腿骨近位部骨折の患者数：321 人）

骨粗鬆症患者はなぜ男性より女性の方が多いのでしょうか。骨にはもともと骨を壊す細胞（破骨細胞）と骨を作る細胞（骨芽細胞）とが備わっていて、毎日のように古くなった骨を新しい骨で置き換えています。ところが女性ホルモン（エストロゲン）が少なくなると骨を壊す細胞の働きが活発になり、骨を作る細胞の働きが追い付かなくなってしまいます。そのため女性ホルモンの分泌が停止してしまった閉経後の女性では骨がどんどん壊されてスカスカで折れやすい骨になってしまいます。一方男性でのホルモンはどのような反応が起きているのでしょうか。男性も実は女性ホルモンが少し流れています。人の体にはたくさんの脂肪があり実はこの脂肪組織には男性ホルモン（アンドロゲン）を女性ホルモンに転換する酵素が隠されています。男性ホルモンは加齢とともに少しずつ減っていきませんが、女性の閉経ほど急激に低下することはありません。そのため閉経後の女性と同年代の男性を比べてみると男性ホルモンが体の中にある男性の方が、男性ホルモンを脂肪で転換し女性ホルモンをたくさん持っていることから、男性より女性の方に骨粗鬆症が多いことが考えられます。では骨粗鬆症の検査は何があるのでしょうか。よく耳にする骨密度検査や骨代謝マーカー測定といった検査があります。骨密度検査は手軽に腕や手の骨、かかとの骨で測定できる超音波法、背骨や脚の付け根の骨密度を精密に測定できる X 線を使った DXA（デキサ）があります。骨代謝マーカーは血液や尿で行います。栄養不足や加齢、閉経によっておこる骨の新陳代謝を骨代謝といい、骨代謝のバランスが崩れると骨量が減少し骨折しやすくなります。骨代謝をチェックする指標を骨代謝マーカーといい、骨代謝マーカーには骨を溶かす細胞の酵素や骨が作られるときに産生されるコラーゲンがあり、血液や尿に含まれるこれらの量を測定して骨の状態を判断します。

将来、骨折による寝たきりにならないためにも自分の骨の状態を検査してみませんか。



診療看護師、  
クリティカルケア認定看護師  
深澤 知里



## 骨吸収抑制薬と顎骨壊死



歯科口腔外科部長  
新井 俊弘

骨吸収抑制薬は、骨粗鬆症や悪性腫瘍の骨転移に対して広く用いられている薬剤ですが、これらの薬剤を使用している患者に生じる合併症として骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（ARONJ）が知られています。代表的な薬剤であるビスホスホネート製剤に関連した顎骨壊死（BRONJ）が2003年に初めて報告され、高齢化が進むわが国でもその罹患数は増加傾向にあります。

一般的に投与期間が長くなればなるほど、またステロイドや糖尿病など易感染性の合併症が多いほど発症リスクが高くなると考えられています。BRONJの発症頻度としては悪性腫瘍に対する高用量で数%、骨粗鬆症への低用量では0.1%と推定されています。

### 原因・症状

骨吸収抑制薬の長期服用により骨リモデリング能が徐々に変化していきます。人の口腔内には常に多数の細菌が存在している中で、顎骨には歯が植立しており、う蝕や歯周炎が進行するにつれて細菌感染が顎骨におよぶリスク高くなります。このような細菌感染が引き金となり、顎骨壊死が発症すると考えられています。

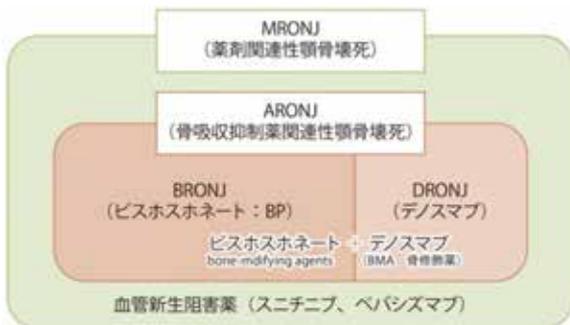
進行するにつれて骨の露出や炎症症状の増悪、知覚麻痺、さらに重症になれば病的に骨折が生じたり、皮膚から膿が漏出してしまう場合もあります。



### 治療

吸収抑制薬関連顎骨壊死の治療において重要なことは、まずできるだけ発症のリスク自体を低下させることにあります。骨吸収抑制薬を使用する予定があれば、あらかじめ口腔内を検査し、感染源をできるだけ排除することが大切です。すでに投与されている患者様においても、保存困難な歯があれば抜歯を含めた外科的治療も行い、できるだけ早期に感染源を排除することで発症リスクを軽減させることができます。

顎骨壊死を発症してしまった場合にも、適切な評価と継続的な管理を行うことで、手術を回避することができる症例も多くあります。また、手術が必要と判断した場合はできるだけ早期に壊死骨の除去手術を計画することで、顎骨への侵襲および機能障害を最小限にすることができます。手術後も定期的に受診していただき、かかりつけ医とも連携しながら口腔管理を継続することで、顎骨壊死の再燃リスクを低下させることが重要です。



## 掲 示 板

## 2024年度 入学式を挙行了しました



4月8日、満開の桜の下で真新しいスーツに身を包んだ新入生30人が入学式に臨みました。新入生たちは緊張した面持ちでしたが、これから専門職業人である看護師になるという夢に向かう第一歩をかみしめている様子に見えました。

社会に貢献し得る有能な人材を育成できるよう質の高い教育を目指し教員も決意を新たにしています。

「人を愛し、人に優しく、人を尊重し、そしていのちを大切にすることができる看護師」になれるよう共に学んでいきましょう。  
看護学校 教員



祝電をたくさんいただきました



東海北陸グループ担当理事より  
メッセージをいただきました

# 新任 ドクター 紹介

着任しました  
新任ドクターを  
紹介します

外科



齋藤 萌

4月より赴任いたしました齋藤と申します。地域の皆様に永く寄り添えるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

外科



相馬 泰平

相馬と申します。熊本県出身です。地域の皆様に少しでも貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

外科



松下 鈴佳

少しでも皆様に貢献できるよう努めます。ご指導のほど、宜しくお願いいたします。

循環器内科



築山 寛

循環器科で勤務いたします築山と申します。これまで勤務していた関東の大学病院とは異なる、静岡医療センターの担う地域に根差した医療を、微力ながらお手伝いさせていただきます。御指導御鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

耳鼻咽喉科



荒井 光太郎

今年度より耳鼻咽喉科医として赴任いたしました荒井と申します。静岡県内での勤務は3年目になります。地域の皆様のお役に立てるよう努力いたしますので、何卒宜しくお願い致します。

麻酔科



前原 知典

4月より赴任いたしました前原と申します。3年ぶりの静岡医療センターでの勤務となります。地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

麻酔科



美濃 有里恵

4月から1年間勤務させて頂く美濃と申します。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが精進して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

皮膚科



岩田 和子

今年度より皮膚科医として赴任しました。5年間静岡市で働いて得た知識や技術を生まれ育った東部の地へ還元できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

臨床研修医



岩部 恵子

4月から初期臨床研修医として働くことになりました。岩部恵子と申します。1日でも早く、多くのことが出来るように日々精進していきます。至らぬ点も多々あることとは思いますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

臨床研修医



大浜 康佑

初期研修医1年目の大浜康佑と申します。至らない点も多々あるかと思いますが、1日でも早く戦力になれるよう頑張っていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

臨床研修医



菊池 しおり

たすきがけ研修で参りました、菊池しおりと申します。至らない点も数多い一年目ではありますが、せいっぱい頑張っていきたいと思っています。よろしくおねがいいたします。

臨床研修医



齊藤 友一郎

4月から初期研修医としてお世話になっております。齊藤友一郎と申します。現場の仕事に右往左往する日々が続いておりますが、できるかぎり貢献できるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医



清水 大玄

研修医1年目の清水と申します。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯勉強し、皆様の力になれるように努力致します。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医



鈴木 惇也

4月から初期臨床研修医として働くことになりました鈴木惇也と申します。至らない点も多々あると思いますが、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

臨床研修医



原 英徳

4月より初期研修医として働くことになりました原英徳と申します。まだまだ未熟で至らない点も多いですが、目の前のことを一つ一つ一生懸命取りくんでいきますので何卒よろしくお願いいたします。

臨床研修医



森 琢磨

4月より働きはじめました森と申します。伊豆出身で地元で貢献できるよう努力していく所存です。何卒よろしくお願いいたします。

